

標題 : 2023年度「保育所・学童保育等職場のヒヤリハット調査」
の実施について(調査依頼)
発信番号 : 自治労発2023第0411号
発信日付 : 2023年4月3日
宛先(団体) :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者(団体): 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 川本 淳

連日のご奮闘に敬意を表します。

さて、社会福祉評議会は、第163回中央委員会で確認された当面の闘争方針に基づき、保育所・学童保育等職場の人員不足による課題を明らかにするため、「保育所・学童保育等職場のヒヤリハット調査」を実施することとしました。

つきましては、下記の通り標記調査を実施します。ご多忙の中、誠に恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

また、本調査にかかるご依頼文書(各県本部等から各職場へ調査依頼をかける際に持参できる文書例)も添付しておりますので、ご依頼の際はご活用ください。

記

1. 調査名

2023年度「保育所・学童保育等職場のヒヤリハット調査」

2. 目的

公立・民間保育所等において発生する事故は、職員の人員不足が要因となっている場合が多く、子どもの命と健康を守るためにも、幼児教育・保育の質と量の向上はより一層、重要となっています。

自治労社会福祉評議会は、保育所・学童保育等職場における人員不足の課題を明らかにするため、「ヒヤリ」「ハッ」とした事例や職員の人員不足による影響等についての調査を実施します。

ご多忙のところお手数をお掛けしますが、各県本部保育部会等に所属する組合員や県本部・地連主催の集会・学習会参加組合員対象に、調査に対するご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

【ヒヤリハットとは】

「ヒヤリハット」とは、災害には至らなかったものの、一歩間違えれば災害になっていたかもしれない「ヒヤリ」としたり「ハッ」とした経験(運が悪ければ怪我をしていたかもしれない事故や、不安全な状態又は行動によって驚いたこと)を意味します。

また、これに関しては、米国技師ハインリッヒ氏が労働災害の発生確率を分析した「ハインリッヒの法則(1:29:300)」というものがあり、その中で、1つの重大な災害の背後には、29の軽微な災害があり、その背景には300の無傷事故(ヒヤリハット事例)があるとされています。(地方公務員災害補償基金「ヒヤリハット事例集～保育事業編～」2012年より)

3. 実施期間

2023年4月24日(月)～5月31日(水)

※調査基準日は、2023年4月1日とします。

4. 調査対象

各県本部保育部会等に所属する組合員(保育士、調理員、放課後児童支援員他)

5. 調査票・ご依頼文

(1) 調査内容・調査票

① 調査内容

自治労に加盟している市区町村の保育所・学童保育等職場におけるヒヤリハット調査

■職場全体の人員配置状況

■「ヒヤリ」「ハッ」とした経験

■休憩時間の有無

■保育職場で最も課題となっていること

②調査票

基本は、グーグルフォームで調査を実施します。参考に、調査項目を添付します【別紙1】。

(2)ご依頼文(参考用)

各県本部等から各職場へ調査依頼をかける際に持参できる文書(例)を作成いたしました。ご依頼の際にご活用ください【別紙2】。

6. 調査方法

(1)調査は、グーグルフォームで実施します。QRコードを掲載したチラシを添付しますので、ご活用ください【別紙3】

(2)実施期間(4月24日～5月31日)に、グーグルフォームで回答をお願いします。

7. 調査結果

第43回全国保育集会(2023年7月29日～30日開催)において、集約結果の概要を報告予定です。

注)調査結果報告時期はあくまで予定です。

集約状況によっては遅れる場合もありますので、ご了承ください。

8. お問い合わせ

本部社会福祉評議会(門崎・会田)

電話 :03-3263-0261 FAX:03-5210-7422

メール:aida@jichiro.gr.jp

添付ファイル :

【別紙2】2023年度保育所等ヒヤリハット調査へのご協力のお願い.docx

【別紙3】QRコード付き案内チラシ.docx

【別紙1】2023年度「保育所・学童保育等職場のヒヤリハット調査」 - Google フォーム.pdf